

温泉の利用状況について

泉 質：カルシウム・ナトリウムー塩化物温泉
(低張性 中性 温泉)

温泉成分の特徴：体を温める効果が大きく、血液の循環をよくし筋肉をやわらげます。また入浴後は保温効果が高く、湯冷めしにくい温泉です。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量：41.4℃ 246リットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：H27.8.6)

浴槽の種類とその状況：大浴場、露天風呂、電気風呂、檜風呂、寝湯(ジェットバス)
(全て温泉水を使用)
水風呂のみ井戸水を使用

循環、かけ流しの状況：循環・かけ流し併用式
(温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽に常に新しい温泉を注入しながら浴槽水を回収し、ろ過、加温して再利用しています。オーバーフロー水は再利用していません。)

加水の状況：なし

加温の状況：入浴に適した温度に保つため、加温しています。

新湯との入れ替わり状況：—

入浴剤等の添加：イベント風呂として、不定期に、露天風呂に入浴剤や生花等を入れることがあります。(詳細は、別途表示)

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況：毎日完全にお湯を抜いて、清掃の上、消毒を実施しています。

浴槽水の消毒状況：衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入し、浴槽内の塩素濃度を2時間毎に確認することにより細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度：日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に2回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成27年8月6日

施設名 湯らつくすゲンキスクエア

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会